



ふくもっちゃんの部屋 ～検索端末～

市立図書館、西口ライブラリー、子どもライブラリー、蓬萊・清水・もちずり・北信・飯坂・松川・吾妻の各学習センター図書室には、利用者の方自身が操作できる検索端末があります。今回は検索端末でできる機能を紹介します。

○検索メニュー

- ・キーワード検索
- ・詳細検索
- ・著者名検索
- ・新刊検索
- ・分類参照検索
- ・雑誌ジャンル検索

様々な条件から検索をすることができます。雑誌ジャンル検索では、旅行や歴史などジャンルごとに雑誌を探すことができます。

○図書館案内

- ・おしらせ
- ・貸出ランキング
- ・予約ランキング
- ・休館日カレンダー

貸出ランキングでは過去3カ月で貸出の多い本を5位まで、予約ランキングでは現在予約が多い本と雑誌を30位まで検索をすることができます。

インターネットサービスにメールアドレスをご登録済のかたは、検索端末から予約や取り寄せが可能となります。メールアドレスのご登録は、オンライン申請または市立図書館、西口ライブラリー、子どもライブラリー、学習センター図書室の窓口へお申し込みください。

～朗読会「ことの^{とき}はの時間」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和7年3月15日（土）午後2時30分～（40分程度）
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名（先着順）※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館カレンダー 4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ 印は休館日

○ 印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

※4月23日～27日は特別整理期間のため休館します。

2025年3月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》

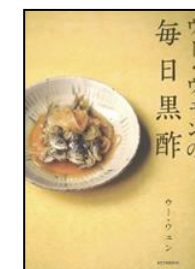


『大人の愛着障害』

村上 伸治 監修

大和出版(493-オトナ)

愛着障害とは、虐待などにより親子間で愛着関係が形成されず、自己肯定感が乏しく、情緒が不安定になることです。しかし、普通の家庭で育っても悩みを抱える人がいます。本書では、自分自身で愛着を再形成するための方法を解説します。



『ウー・ウェンの毎日黒酢』

ウー・ウェン 著

講談社(596-ウウエ)

血糖値上昇の抑制や免疫力アップといった健康効果がある黒酢の活用方法を紹介します。料理の幅が広がる10種のタレをはじめ、砂糖や醤油を一切使わないアジの南蛮漬けなど、手軽に黒酢を取り入れられるレシピも掲載します。



『黒雪姫と七人の怪物』

太田 紫織 著

新潮社(PF-オオタ)

故郷をおわれた青年シロは、黒色の服を禁じられた国で唯一黒衣を身にまとう貴婦人アナベルと出会う。夫を冤罪で処刑された彼女は、その復讐を心に誓っていた。真相を追い求めた先で彼らを待っていた恐ろしい陰謀とは…。



『謎解き妖怪学』

小松 和彦 著

KADOKAWA(388-コマツ)

マンガ、アニメの影響で注目されるようになった日本の妖怪たち。それらを長年研究してきた著者が、つくも神の正体や土蜘蛛が生まれた背景など、5つの謎に迫ります。絵巻物と仏画を使って多方面から読み解く妖怪学の入門書です。



『サラブレッドはどこへ行くのか』

平林 健一 著/NHK出版(788-ヒラバ)

世界で一番馬券が売れる日本で、競走馬サラブレッドは人々を熱狂させます。その誕生から育成までの過程や現役生活、引退後の行く末を取材したノンフィクションです。経済的に生かし続けることの難しい引退馬のこれからを考えます。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

三国志を歩く中国を知る 坂本 信博 著／西日本新聞社(292－サカモ)	私たちのテラスで、終わりを迎えようとする世界に乾杯 チョン セラン 著 すんみ 訳／早川書房(929－チョン)
戦時下の政治家は国民に何を語ったか 保阪 正康 著／NHK 出版(312－ホサカ)	死写会 五十嵐 貴久 著／実業之日本社(F－イガラ)
公安外事警察の正体 勝丸 円覚 著／中央公論新社(317－カツマ)	雪夢往来 木内 昇 著／新潮社(F－キウチ)
イラスト図解知っているようで知らない金利のしくみ 久保田 博幸 著／池田書店(338－クボタ)	冬と瓦礫 砂原 浩太郎 著／集英社(F－スナハ)
遠野物語と怪異 遠野市立博物館 監修／河出書房新社(388－トオノ)	梅の実るまで 高瀬 乃一 著／新潮社(F－タカセ)
依存症の人が「変わる」接し方 山下 悠毅 著／主婦と生活社(493－ヤマシ)	異端考古学者向井幸介1994年の事件簿 東郷 隆 著 禅之助 画／星海社(F－トウゴ)
痔トラブルの治し方 寺田 俊明 監修／Gakken(494－ジトラ)	他言せず 天野 節子 著／幻冬舎(PF－アマノ)
図解知識ゼロからの食料安全保障入門 平澤 明彦ほか 監修／家の光協会(611－ズカイ)	アクトアップ 石川 智健 著／朝日新聞出版(PF－イシカ)
蔦屋重三郎と浮世絵 松嶋 雅人 著／NHK 出版(721－マツシ)	京都伏見恋文の宿 花房 観音 著／実業之日本社(PF－ハナブ)
もの想う時、ものを書く 山田 詠美 著／中央公論新社(914.6－ヤマダ)	エッセイ三昧 和合 亮一 著／田畑書店(K914.6－ワゴウ)

作家と福 (Fuk) 師弟

明治時代に活躍した文豪、尾崎紅葉。彼に十八歳で弟子入りしたのが、泉鏡花です。玄関番として、住み込みで雑用をこなしていました。そんな弟子に紅葉は、文章の添削、小説掲載の斡旋など手厚く面倒を見ます。また、父が亡くなり絶望を感じていた鏡花に度々手紙を送り、小説を書き続けるよう励ましました。

鏡花も、紅葉のことを悪く言った同門の徳田秋声に殴りかかった、というエピソードが残っています。それほどまでに師を慕い、崇拝していました。書斎には紅葉全集と写真が飾られ、毎朝礼拝を欠かさなかったそうです。二人の作品を合わせて読むことで、また違った見え方がするかもしれません。

参考文献：『泉鏡花』眞有 澄香 著／勉誠出版（910．2－イズミ）
『泉鏡花』／平凡社（910．2－イズミ）

ライブラリアンの

展示★名作案内

伝えたいことがある！ ～届け、この思い！～



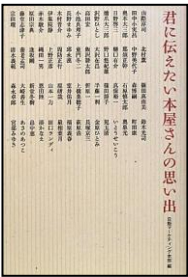
コミュニケーションの方法も多種多様です。

『動物たちは何をしゃべっているのか？』
山極 寿一・鈴木 俊貴 著
集英社(481－ヤマギ)
人間のように複雑な言語をもたない動物たちは、どのように自分の意志を伝達しているのでしょうか？ 鳥とゴリラをそれぞれ研究する2人の対談から、言葉の起源やこれからのコミュニケーションの在り方がみえてきます。



一度聴いたら忘れられない語り口！

『伝えることから始めよう』
高田 明 著
東洋経済新報社(289－タカタ)
年間1000億円以上を売り上げる通販会社「ジャパネットたかた」の創業者が、商品の良さを伝え消費者の心を動かすために意識していたこととは何か。自身の半生を振り返りつつ、相手に「伝える」ことではなく、「伝わる」ことの大切さを綴る。



本好きに本屋さんは欠かせません！

『君に伝えたい本屋さんの思い出』
日販マーケティング本部 編 山際 淳司ほか 著／主婦と生活社(024－キミニ)
60人の作家・文化人が、思い出のある本屋さんや書店員とのエピソードを語ります。彼らにとってお店がどんな存在であり、居場所だったのかがわかる一冊です。それぞれのエピソードに、共感を覚えます。



身近な表示が気になってきます。

『世界ピクト図鑑』
児山 啓一 著
ビー・エヌ・エヌ(727－コヤマ)
トイレや非常口の表示など、ひと目で意味が伝わるピクトグラム。著者が世界中の空港や街中などで撮影したピクトグラムを、カラー写真で紹介しつづけます。同じ項目でも表現の違いにお国柄を感じることができます。



時に傷つけ、時に救う…言葉の重みを痛感します。

『どうかこの声が、あなたに届きますように』
浅葉 なつ 著
文藝春秋(PF－アサバ)
母親が原因で心に傷を負う奈々子は、ラジオパーソナリティとして再出発を果たす。多くのリスナーから人気を得るが、母との再会でストレス性の失声症を患ってしまう。番組続行が危ぶまれる中、彼女は再び声を届けることができるのか？